

## 概要

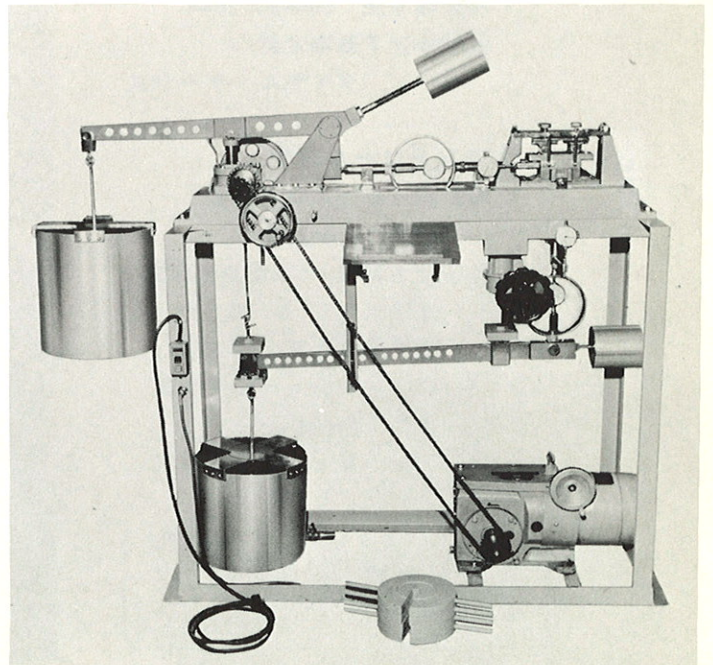
本機は近年の土質力学の発展によって明らかにされてきた、一面剪断試験に関する理論的な欠点および装置の構造上の問題を、学術的な研究と、これに基づく試験装置の根本的な改革により、従来三軸試験などに比較して劣る試験であるとされていた観念を除き得る程に機能を向上せしめ、同時に一面剪断試験の本来の利点を兼備させることに成功した、新しい型の一面剪断試験機です。

## 特徴

1. 等体積剪断（供試体の体積をコントロールする剪断）により、いわゆる有効応力の変化を追跡することができる。これによって従来極めて困難とされてきた「試験中の排水のコントロールが出来ない」という一面剪断試験の問題を解決している。
2. 剪断箱の構造上、剪断箱が不安定な動きをしたり、不安定な応力状態を生ずることがない。又剪断箱は研磨仕上げとしてある為、不必要な摩擦により供試体の体積変化の自由が束縛されることがない。（剪断箱は御希望によりステンレス鋼製とも致します）
3. 剪断応力を歪制御方式でも、応力制御方式によっても、又応力制御-歪制御自動変換方式によっても加えることができるので、合理的な载荷を能率よく行なうことができる。
4. 剪断方向の切替えができるので、繰返し剪断を始めとする特殊な試験も行なうことができる。
5. 特殊な剪断箱に加えて、供試体の厚さが任意に選択できるので、圧密量の大きいヘドロ状の試料も試験することができる。
6. 剪断箱部始め各部にわたり頑丈な構造としてあり、従って载荷容量を剪断荷重、垂直荷重共 300kgとすることができる。
7. 上部剪断箱は、通常排水コントロール型ですが容易に非排水型とすることができる。

## 仕様

1. 剪断箱：垂直荷重上方载荷式、上箱完全平行移動型、上下箱間隔調節可能排水弁装備、供試体寸法60mmφ×20、30、40mmの三種
2. 垂直荷重機構：レバー拡大による水荷重および分銅荷重兼用式、供試体体積コントロール装置付、载荷範囲200kgまで無段階
3. 剪断荷重機構：電動歪制御、水荷重レバー拡大式応力制御の両方式、単独および自動変換による兼用可能式、  
载荷速度0.2~1.8 mm/min無段階  
载荷範囲 200kgまで無段階
4. 荷重計測：垂直荷重、剪断荷重共に 200kgプルルーピング・リング式。
5. 変位計測：ダイヤル・ゲージ式、働長30mm  
1/100mm目盛、2個付
6. 付属品：試料環（刃先付）三種、試料押出器、ストレート・エッジ（20cm）



### —— 営業品目 ——

土質・セメント・コンクリート・アスファルト試験機  
丸東万能・圧縮材料試験機（リーレ式）・マルトー  
リング（力計）・電気計測器器・はかり及計量・計測器